

## 人権講演会 12 / 15

ノビアホールでの人権講演会で、平松慧子さん(6年) 太田垣怜菜さん(9年)が人権作文の発表を行いました。講演は、福井県東尋坊で、自殺防止活動を長年行ってこられた茂幸雄さんのお話を聞きました。将来、辛いことがあった時、辛い思いをしている仲間がいた時、世の中には助けてくれる人がきついていることを思い出してほしいと思いました。



「ふるさと兵庫 魅力発見！」感想へのご協力ありがとうございました。  
寄せていただいた感想、一部紹介します。

- ・私も主人も但馬で生まれ、但馬で育ってきました。しかし、自分の育った地域のことに関心を持つことは少なかったです。親となり、子どもに地域の人やこの但馬で経験できることは何か、その経験をしながら大人になってほしいと思いました。(略)
- ・「え!? そうなんだ!!」と結構知らなかった事がたくさんありました。子どもに「すぐ読めるし」と軽く考えていたら、結果読み終えるのに2日かかりました。昔から歴史物に興味があり、この冊子の中でも「第三章兵庫を支えた歴史」が一番印象に残りました。(略)
- ・阪神・淡路大震災は多くの命を奪い、大きな被害をもたらしました。被害総額や住宅被害など改めて数字で見ること地震の恐ろしさを感じました。子どもたちのスポーツの大会などでよく目にしていたはばタンですが、震災から復興する兵庫の姿…元気に羽ばたくフェニックス(不死鳥)…をデザインしたものだとは知り、はばタンに込められた思いが胸に響きます。

## 黙食について

文部科学省より、現在、各校で実施している「黙食」について、「感染状況も踏まえつつ、地域の実情に応じた取組を検討」するよう通知がありました。市内学校では、養父市の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、当面の間、黙食を継続いたします。保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 名も無き家事

田村由美さんの「ミステリーと言う勿れ」という漫画あります。菅田将暉主演でドラマ化され、見られた方も多いと思います。主人公の久能整(くのうととのう)が鋭い視点で事件の謎を解いていくストーリーなのですが、「僕は常々思っているのですが…」と話すセリフが心のしみると評価されている作品でもあります。

話の中で、ゴミ出しをしているのに妻から感謝されないと言う池本巡査に、久能が「おたくにゴミ箱はいくつありますか？ゴミ捨てって家中のゴミを集めるところから始まるんですよ。分別できてなかったら袋を取り替えて、生ゴミも水切って、ついでに排水口の掃除もして、ゴミ袋の在庫があるかチェックして。そうやってやっと一つにまとめるんですよ。」と話す場面があります。

家庭生活は、名前をつけるほどではないが一つ一つ必要な「名も無き家事」で成り立っています。大和ハウスが、投稿された「名も無き家事ランキング」を発表しています。1位「裏返しに脱いだ衣類・丸まったままの靴下をひっくり返す作業」2位「玄関で脱ぎっぱなしの靴の片づけ・下駄箱へ入れる/靴を揃える」3位「トイレトペーパーの補充・交換」4位「服の脱ぎっぱなしを片づける・クローゼットにかける/脱ぎ捨てた服を回収して洗濯カゴへ入れる」5位「食事の献立を考えること」となっています。

お家の中で、誰かがやってくれていることに感謝し、冬休み、家族の一員として、1つでもその役割を担える子どもたちになってほしいなと思っています。

